

経営比較分析表（令和4年度決算）

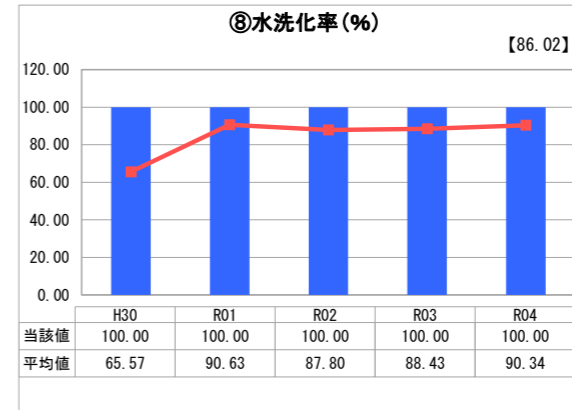
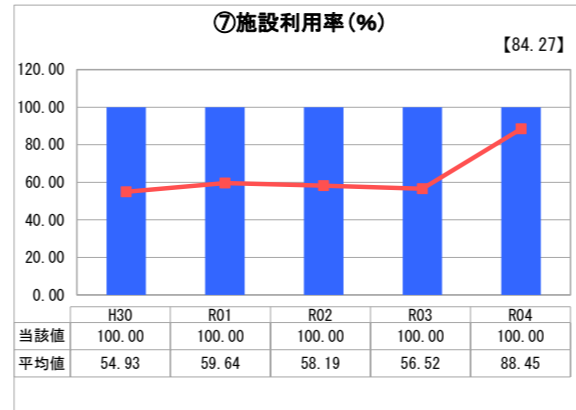
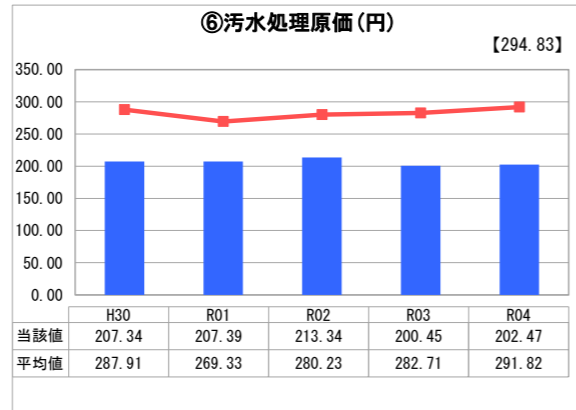
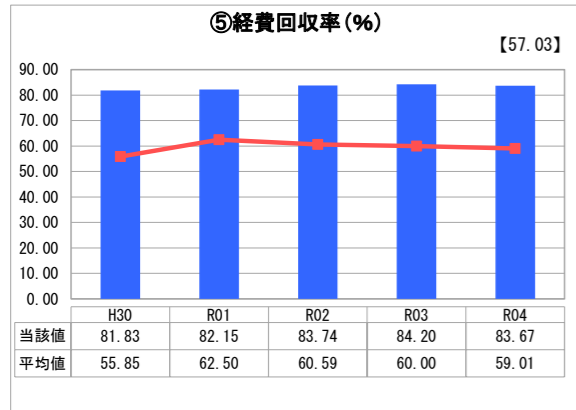
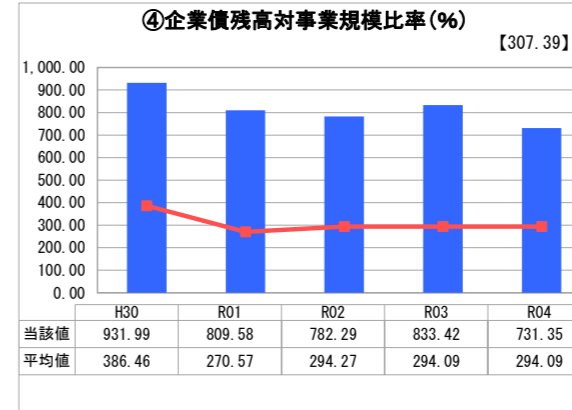
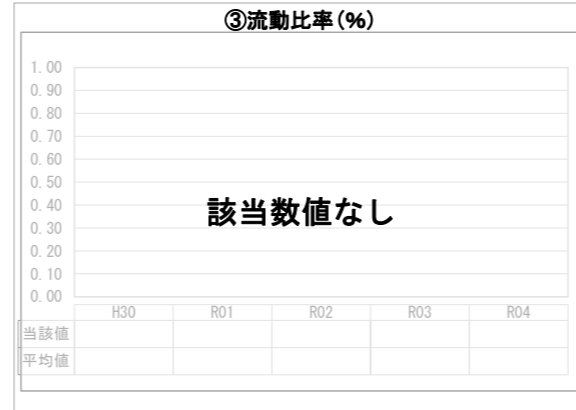
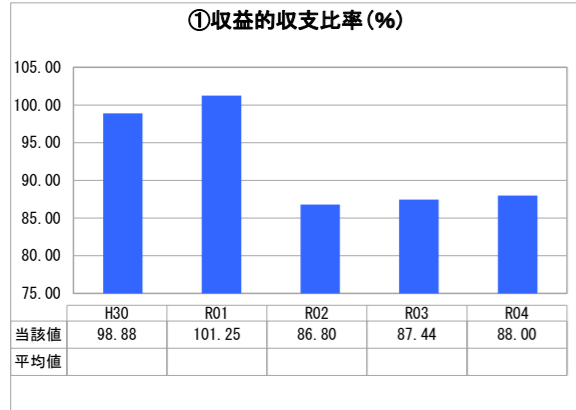
徳島県 三好市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14.90	100.00	3,850

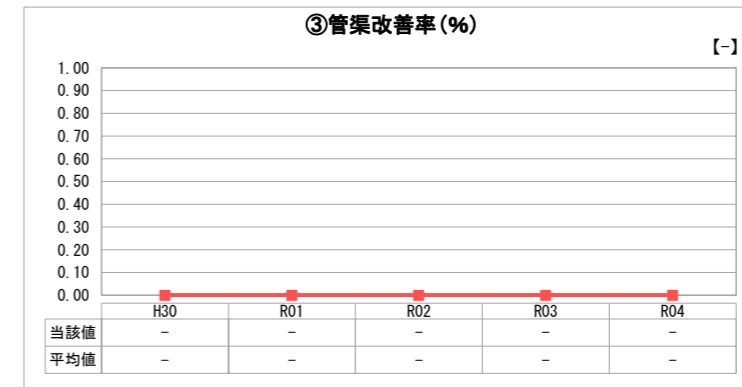
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,530	721.42	32.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,467	209.72	16.53

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度は収益的収支比率が100%を下回っているが、前年度に比べ数値は改善している。今後は浄化槽の管理基数が増えるにつれ経常的な費用は増加していくが、特に当市ではPFI事業方式による維持管理を行っているため、使用料収入のみでは補えない範囲がある。これらは市の主要施策に必要な経費として、これまで同様に一般会計繰入金で補うことを見込んでいくが、今後は、地方公営企業法に基づく企業会計（一部適用）に移行されるため、今まで以上の経営の健全性や効率性が求められる。

2. 老朽化の状況について

市が管理する公共浄化槽（市町村設置型）のうち設置後10年以上を経過したものの修繕費用が今後増加する見込。今後は、令和3年度に策定した「三好市公共浄化槽長寿命化計画」に基づいた計画的かつ効率的に改修・修繕を行いながら、公共浄化槽の長寿命化や維持管理負担の平準化を図る必要がある。

全体総括

平成27年度より、全市において民間活力を導入したPFI方式での公共浄化槽（市町村設置型）の整備及び維持管理を行っており、計画的でスピード感をもった生活排水の適正処理及び汚水処理率の向上に継続的に取り組んでいる。今後も引き続き、持続可能な事業運営に向けて、経費削減や設備の長寿命化に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。